

# 国際交流員の活動日誌

vol.40

ひとこと英会話

under the weather

アメリカ人に「How are you?」と聞くと、時に「under the weather(天気の下)」と返事します。「I'm feeling under the weather」は「I'm feeling sick(具合が悪い)」と同じ意味です。昔、船員が病気のとき、天気から身を守るために甲板の下に連れて行かれたからと言われていました。気分が悪いときは家の中にいましょう。



## Information

市政だより英語ダイジェスト版を市役所、総合支所、保原駅、梁川駅で配布しています。

2011年、夏休みに里帰りしたあと、向日葵が溢れる福島に戻りました。向日葵の美しさに根性と樂觀さを感じて感動しました。数年後、伊達市に引っ越して小さな庭のある家に住み始めました。雑草ばかりにならないよう向日葵を植えました。芽が出た直後に病気と害虫がたくさん出ましたが、その状態にも負けずに成長する向日葵に感動しました。そしてある日、カエルに気づきました。子どもの時、家の周りにカエルはほとんどいなかった

たので、日本のアマガエルに見とれてしまいます。隣の水田のカエルが僕の向日葵の高い茎を登り、ポロポロな葉で伏せていました。カエルは毎日増えて数えられなくなりました。それでも仕事から帰宅すると夢中でカエルを数えてしまいます。仕事で幼稚園生と関わる影響でしょうか。おそらく害虫を食べに集まったのでしょう。可愛くてありがたい客です。今年も向日葵を植えてカエルの訪問を楽しみながら、我慢強い向日葵に感謝します。

# 地域の魅力 ふる里再発見

## 伊達市の古墳群 (2)

しんざん  
～新山古墳群～

伊達市の古墳  
企画展開催

9/22 ☉まで  
保原歴史文化資料館

新山古墳群は、阿武隈急行二井田駅から南東へ1.2キロ地点の伊達市梁川町細谷字新山に位置し、福島盆地西部の盆地を見下ろせる標高100メートルの尾根上に立地しています。昭和36年(1961年)、2号墳が個人により発掘され、蕨手刀や直刀・鉄鏃などが出土しました。昭和49年(1974年)に、当時の梁川町教育委員会で町史編さん事業の一環として、1、2号墳の発掘調査を行いました。1号墳は、直径が8メートル、2号墳は直径が10メートルの円墳です。埋葬施設の主体部は、ともに凝灰岩の自然石と割石を用いた胴張型の横穴式石室で、2号墳の玄門部(入口)に門柱石が確認されています。遺物は、1号墳から鐔・鉄鏃・刀子・須恵器(平瓶・大甕片)・土師器(杯)、2号墳から鐔・鉄鏃・刀子・土師器(杯)などが出土しました。2号墳

から出土した蕨手刀は、太刀の一種で、蕨の若芽のように屈曲している。この名前が付けられました。正倉院宝物にも伝えられ、ほぼ全国から発見されています。1・2号墳の造営時期は、出土した須恵器や土師器・蕨手刀などから7世紀後半から8世紀初頭と考えられています。本年春に現地へ赴き、案内板や標柱とともに4基の古墳を確認しました。周辺の地形を観察すると西から南に開けた開析谷に古墳がやや弧状に配置されており、南側にも古墳が存在した可能性が考えられます。



2号墳 (現況)